

第12回下関市市民協働参画審議会の概要について

1. 開催日時・場所

平成19年8月9日(木) 18:30~19:30

しものせき市民活動センター 大会議室

2. 出席者

委員 14名 (欠席6名)

石川啓会長、松尾文子副会長、岡本浩明委員、酒井孝之委員、貞光博子委員、高山剛委員、田中クゲヨ委員、田中隆子委員、中村健次郎委員、林幸子委員、藤岡基昭委員、丸山久美子委員、宗近孝憲委員、原田雄三委員

市 市民部次長、市民文化課長補佐、市民文化課主査、他職員1名

3. 議事概要

「議題1 平成18年度市民と行政・市民と市民のパートナーシップ年次報告について」

①事務局にて年次報告の概要説明

●パートナーシップ関連主要施策の説明

- 1) 市民協働参画の理解促進を目的とした「パートナーシップ研修会」
- 2) 啓発を目的とした新規事業「協働わいわいミーティング」の実施
- 3) 公益的な市民活動を支援する「市民活動支援補助金制度」の運営
- 4) 5月に新規開設した「しものせき市民活動センター」関連事業
- 5) 安心して市民活動を行っていただける環境整備としての「市民活動保険」

<市民と行政のパートナーシップ項目>

●情報提供・共有の施策の説明

「ア. 説明会を開催したもの」16施策

事例紹介「改正介護保険制度趣旨普及住民説明会」の説明

「イ. シンポジウム・フォーラム等を開催したもの」15施策

事例紹介「日本女性会議2006しものせきの開催」

「ウ. ワークショップを開催したもの」6施策

事例紹介「新児童館建設に関するワークショップ」

「エ. 学習会・研究会を開いたもの」58施策

事例紹介「長府浄水場施設見学(水ができるまで)」

「オ. 広報誌などで詳しく施策の内容を市民に説明したもの」17施策

事例紹介「平成18年度市報かがやき掲載内容」

「カ. その他」22施策

事例紹介「健康づくり推進事業(健康のつどいの開催)」 各項目の説明。

●施策の推進に関して市民から提出された意見の件数及び回答状況の説明

- 「ア. パブリックコメントを行った施策について」 12 施策
事例紹介「下関市総合計画原案に関するパブリックコメント」
- 「イ. アンケートを実施した施策」 27 施策
事例紹介「長府駅周辺地区整備に関するアンケート」
- 「ウ. 市民提案・企画・論文等を募集した施策」 2 施策
- 「エ. 公聴会を実施した施策」 1 施策
- 「市長へのはがき・Eメール等」 2 施策
- 「その他要望等」 4 施策 各項目の説明。

●附属機関等における委員構成の状況の説明

7.3 附属機関等の調査

- 平成18年度における対象附属機関等の公募実施率は21.9%
(17年度22.6% 0.7%の減)
事例紹介「市民憲章策定委員会」

<市民と市民のパートナーシップ項目>

●市民活動を促進するための環境整備として実施された施策

- 「ア. 市民活動を促進する情報の収集及び提供」 5 施策
事例紹介「NPO等支援センターだより（ももしー通信）発行」
- 「イ. 市民活動の場所の提供」 24 施策
事例紹介「豊北生涯学習センター管理業務」
- 「ウ. 市民活動のネットワーク化の促進」 4 施策
事例紹介「市民協働参画啓発事業『協働わいわいミーティング』の開催」
- 「エ. 補助金等市民活動を側面的に支援する助成制度」 71 施策
事例紹介「再資源化推進事業奨励金」
- 「オ. その他」 4 施策
事例紹介「市民協働参画研修『パートナーシップ研修会』の実施」
各項目の説明。

●市民等と協働を行った施策及び協働の方法

- 「ア. 市民活動団体等へ委託を行った事業」 29 施策
事例紹介「下関ブランド発信事業」
- 「イ・その他市民活動団体と協力して行った事業」 34 施策
事例紹介「第21回国民文化祭・やまぐち2006の開催」
各項目の説明。

<市民活動の現状>

市民活動の状況について、市民活動団体数においては、しものせき市民活動センターにおける団体紹介シート提出団体が年々増加。

活動分野について、「保健、医療または福祉の推進を図る活動」、「子どもの健全育成を図る活動」、「まちづくりの推進を図る活動」が中心。

団体詳細紹介「ママ♪ねっとわーく」、「土井ヶ浜弥生まつり実行委員会」、「下関深坂さくら友の会」の紹介。

審議会評価について、本日の審議及び提出いただく平成18年度年次報告意見評価を集約しまして、平成18年度の本市における市民参画及び市民活動の現状の審議会評価とし、評価と報告を一对で議会報告、公表を行う旨を説明。

②審議

委員：18年度は、全市的なイベントが多く開催され、多くの市民がボランティアや実行委員として参加した。協働参画の実があがった年度と言えるのでは。

委員：ワークショップは、市民意見の提案・聴取に、多くの効果がある手法と思われる。今後においても実施対象の拡大をお願いしたい。

委員：確認ですが、原稿は表紙のみカラーで、内容は白黒でしょうか。

事務局：表紙がカラーで、内容は白黒です。

委員：アンケートを実施した施策における、「回答状況」の記述は、意味が解りにくい。

事務局：「結果公表状況」への修正で検討します。

●意見評価提出後、文章化においては会長一任することについて全委員了承

2. 今後の予定について

事務局：委員任期について説明

11月10日に委嘱期間満了

一部改選を行うが、引き続き就任が可能な委員はご留任をお願いします。

後日、留任の可否照会の文書を送付します。

3. その他

事務局：前回審議会で審議した、市民活動支援補助金の交付状況の説明

藤岡、塩田、岸田委員の協力を得て選考委員会を設置し、採択検討を行った。また9月より後期募集を行いますので引き続き、ご協力とPRをお願いします。

藤岡委員：平成18年に豊北で実施した「生活学校・生活会議運動 中国・四国ブロック研究集会」の記録集が発行されましたので、委員の皆様にご提供します。